

## 第 22 回透析医療費実態調査報告

太田圭洋\*1 土谷晋一郎\*1 山川智之\*1 篠田俊雄\*1 隈 博政\*1 宍戸寛治\*2  
戸澤修平\*2 甲田 豊\*2 秋澤忠男\*2

key words : 診療報酬改定, 効率性, 医療費, 透析

### 要 旨

2018 年の透析医療費実態調査の結果から、維持透析 1 回あたりの請求額は 3,064 点と前回の 3,077 点から 13 点の減少となった。2018 年改定では透析技術料が、一番引下げが少なかった人工腎臓 1 でも 35 点引き下げられているが、そこまで大幅に請求額が減少しなかったのは、オンライン HDF の比率が前年の 33% から 38% まで増加したことが主因と考えられた。

### はじめに

日本透析医会の透析医療費実態調査は 1997 年より開始して今年で 22 回目となる。この調査結果は日本医師会や厚生労働省へ提出する要望書の裏付けになっている。今回も会員諸兄のご協力により 170 施設より 12,078 件の外来レセプトデータをいただき分析を行った。

調査対象は例年のごとく、①慢性維持透析患者外来医学管理料（慢透）を算定していること、②定点観測は 6 月分とし、月水金（昼・夜すべてのシフト）で月 13 回の透析を実施していること、③オフライン HDF やリクセル使用は除外した。本年度は昨年度に導入したクラウド集計で行う新システムで調査を実行しており、コンピューターソフトが自動的に対象レセプトを抽出しているため、以前のような基準外のレセプトは存在せず、有効レセプト数は全例 12,078 件（病院 5,585、診療所 6,493）である。

### 1 平成 30 年度（2018 年度）改定の概要

2018 年度改定において、腎代替療法はフォーカスが当てられかなり大幅な見直しが行われた。今年の調査結果を理解するには改定内容の理解が不可欠である。そのため以下その内容に関して概説する。

#### 1-1 慢性維持透析の点数引き下げおよび

##### 「施設の効率性」による区分の新設

今回の改定では、以前の診療報酬改定と同様、包括されているエリスロポエチン等の ESA 製剤の実勢価格の低下を理由とした引き下げに加え、「施設の効率性」による区分を新設し、効率性の高い施設の慢性維持透析技術料がより引き下げられることとなった（図 1）。

「施設の効率性」は、透析用監視装置 1 台に対する「J038」人工腎臓を算定した患者数の比率で判断されることとなった。具体的には透析用監視装置 1 台に対する患者数が 3.5 と 4.0 で線引きされ、透析用監視装置の台数が 26 台以上で 3.5 以上 4.0 未満が慢性維持透析 2、同じく 4.0 以上が慢性維持透析 3 となり、「効率性」が高いほうが、低い点数がつけられることとなり、とくに 4.0 を超える施設においては 120 点という大幅な引き下げとなった。

具体的な透析用監視装置の台数、および患者数の数え方等「施設の効率性」に関する詳細は表 1 の通りで、入院患者と月 5 回以内の外来透析についてはカウントの対象外となった。また、施設基準として慢性維持透

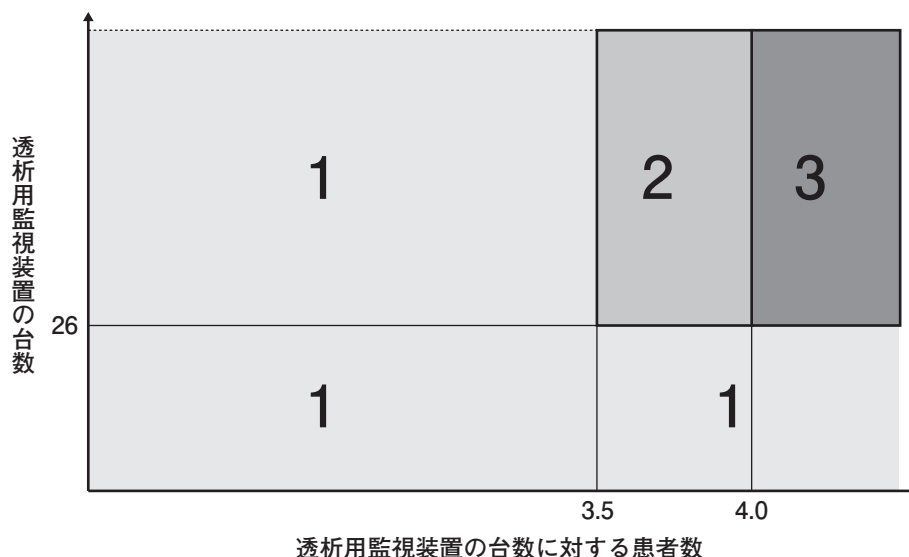


図 1 施設の効率性による区分

表 1 「施設の効率性」に関する詳細

1. 透析用監視装置の台数の数え方
  - 以下のいずれも満たす透析用監視装置が台数に数えられる。
    - ① 透析室に配置されていること。
    - ② 患者に対して使用できる状態である（定期的なメンテナンスがなされており、必要な配管等と接続されている状態）。
  - 直近 12 カ月の各月はじめの人工腎臓を行う日の透析用監視装置の台数の合計を 12 で除した値を透析用監視装置の台数とする。
2. 患者数の数え方
  - 直近 12 カ月の各月の外来患者数の合計を 12 で割った値を患者数とする。なお外来で人工腎臓を実施した回数が月 5 回以下の患者は、その月の患者数の合計に数えない。
3. 慢性維持透析 1 及び 2 の施設基準の届け出方法
  - 1 月から 12 月までの 1 年間の実績をもって施設基準の適合性を判断し、慢性維持透析 1 または 2 の要件を満たしている場合は、翌年の 4 月 1 日から翌々年の 3 月末まで所定点数を算定できる。
  - 新規に慢性維持透析 1 または 2 の届出をする場合は、届出前 12 月の実績（実績がない場合は届出前 3 月の実績）が施設基準に適合しており、届け出が受理されれば、翌月から所定点数を算定できる。
  - 届出前 12 月の実績が施設基準に適合していれば、変更の届出を行うことができる。
  - 人工腎臓の算定の実績がない新規の保険医療機関については、算定初月の翌月から 4 カ月は慢性維持透析 1 の施設として扱う。

析 1 と 2 については厚生局への届け出が必要となり、届け出のない場合は 3 となることにも留意が必要である。

#### 1-2 慢性維持透析濾過（複雑なもの）（＝オンライン HDF）の時間区分の新設

これまでオンライン HDF については、診療報酬上は「慢性維持透析濾過（複雑なもの）」という扱いで時間区分はなく 1 回あたり一律 2,225 点だったが、今回の改定では、人工腎臓点数に 50 点の慢性維持透析濾過加算を新設する形に変更され、実質的に時間区分が新設されることとなった。4 時間の慢性維持透析濾過の場合は、改定前の点数が通常透析と比べ 50 点ブ

ラスだったので、慢性維持透析の引き下げ分（35 点）の減点ということになった。しかし、4 時間未満の慢性維持透析濾過では改定前に比し大幅な減点となる一方、5 時間以上のオンライン HDF では、いままであった維持透析と維持透析濾過の点数の逆転現象が解消され増点となった。

#### 1-3 長時間透析（6 時間以上）に対する評価の新設

これまでの時間区分に加え、通常的人工腎臓では管理困難な兆候を有する患者に対し 6 時間以上の透析を行った場合、慢性維持透析の点数に加えて長時間加算が算定できることとなった。通常的人工腎臓では管理困難な兆候を有する患者の定義は、以下の条件のいず

れかである。

- ① 心不全兆候を認める、または血行動態の不安定な患者
- ② 適切な除水、適切な降圧薬管理、適切な塩分摂取管理を行っても高血圧状態が持続する患者
- ③ 高リン血症が持続する患者

加算点数は1回あたり150点で、条件を満たす患者限定ではあるが5時間透析の点数と併せてかなり大きな評価となった。

#### 1-4 障害者加算および夜間・休日加算の増点

著しく人工腎臓が困難な障害者等に対して算定できる障害者等加算は、これまで1回あたり120点だったものが140点と20点引き上げとなった。対象患者の条件について変更されるのではとの危惧があったが、本改定では特に変更はされなかった。

また外来患者に対して、午後5時以降に開始、または午後9時以降に終了する透析、および休日に行う透析について算定できる時間外・休日加算がこれまで300点だったものが、380点と80点の大幅な引き上げとなった。

#### 1-5 透析液水質確保加算の区分廃止と引き下げ

これまで透析液の水質確保に関する評価として、透析液水質確保加算1(8点)、透析液水質確保加算2(20点)という二つの点数が設定されていたが、1が廃止となり、2の算定要件である「月1回以上水質検査を実施し、関連学会から示されている基準を満たした血液透析濾過用の置換液を作製し、使用していること」が新しい水質確保加算(10点)の算定要件となった。この結果、これまで水質加算2を算定していた施設においては、実質的に1回あたり10点の引き下げとなった。

透析液水質確保加算の施設基準を満たすことが、オンラインHDFを施行したときに算定できる慢性維持透析濾過加算算定の必要条件となるのはこれまで通りである。

この水質確保加算の変更に伴い、改定前の水質確保加算1の条件であった

- ① 関連学会から示されている基準に基づき、水質管理が適切に実施されていること
- ② 透析機器安全管理委員会を設置し、その責任者

として専任の医師又は専任の臨床工学技士が1名以上配置されていること

は、人工腎臓の技術料の算定要件となり、これを満たさないと人工腎臓の算定が不可となった。昨年度で数%の施設は水質確保加算1または2を算定していないことがわかっており、これらの施設を救済するため1年間の猶予期間が設けられた。

#### 1-6 腹膜透析や腎移植を推進する施設の評価

腹膜透析や腎移植を推進するための取り組みや実績を評価するために、実績のある施設について、導入期加算と慢性維持透析外来医学管理料においてより高い評価が行われることになった。

これまでの導入期加算は、導入後1カ月であれば無条件に1回あたり300点が算定できたが、改定後は導入期加算1と2は、それぞれ施設基準を満たし厚生局へ届け出をすることが算定の条件となった。

導入期加算1は日本腎臓学会、日本透析医学会、日本移植学会、日本臨床腎移植学会作成の「腎不全治療選択とその実際」等に基づき、患者毎の適応に応じて、腎代替療法について患者に対し十分な説明を行っていることが条件となり、点数は改定前と同じ300点である。

導入期加算2は導入期加算1の条件に加え、在宅自己腹膜灌流指導管理料を過去1年間で12回以上算定していること、および腎移植について、患者の希望に応じて適切に相談に応じており、かつ、臓器移植ネットワークに腎臓移植希望者として新規に登録した患者および生体腎移植が実施され透析を離脱した患者が過去2年で1人以上いることが条件となり、点数は1回あたり400点と、現行点数から100点の増点となった。

また、導入期加算2の施設基準を満たす施設においては、その施設が慢性維持透析外来医学管理料を算定する全患者に対して、腎代替療法実績加算として100点の加算点数を算定できることとなった。

さらに、これまで回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟および特定一般病棟において、入院料に包括され算定できなかった腹膜透析の技術料および透析液、診療材料が別に算定できることとなり、いままでも実質的に不可能であった腹膜透析患者の上記病棟への入院が可能となった。

## 2 調査結果の概要と年次推移

表 2 (文末掲載) に、今回の調査を含む過去 22 回の集計結果の時系列表を示す。今回の調査の平均年齢は 65.5 歳 (前年 65.3 歳)、透析歴 9.8 年 (前年 9.9 年) であった。

請求合計点数は 39,826 点であり、前年の 39,998 点に比し 172 点 (0.4%) の減少であった。投薬は 3,267 点と前年に比べ 20 点の減少、注射は 1,471 点と前年に比し 30 点減少した。夜間加算の算定割合は 25.8% とほぼ横ばいであるが、障害加算の比率は 26.0% と増加を認めた。また院外処方割合は 67.3% と増加傾向の継続が認められた。

今年度の調査結果の全体集計を表 3 (文末掲載) に示す。透析 1 回あたりに割り返すと、3,063.5 点と前回調査の 3,076.8 点から約 13.3 点の減少となった。その主因は本改定における人工腎臓技術料の減点である。処置料 (技術料+ダイアライザ等) は、約 15 点の減少となっている。改定による技術料の減少ほど処置料が減少していないのは、オンライン HDF の比率の増加が主因である。血液透析濾過は、本改定から人工腎臓の加算点数となったが、その比率は 37.7% と前回の 33% から大幅な増加が認められ、増加傾向が継続していた。それに伴いヘモダイアフィルタの使用も増加しており、処置料全体としての単価の減少を緩和した形となった。

今回、効率性により人工腎臓は 1~3 に区分された。人工腎臓 2 での請求は 267 件、人工腎臓 3 での請求は 32 件認められたが、多くの請求は人工腎臓 1 での請求であった。

前回の改定で新設された下肢末梢動脈疾患指導管理加算の算定は 10,696 件と全体の 88.6% であった。また、今回の改定で変更があった水質確保加算 (前水質確保加算 2) は 11,696 件で 96.8% の患者が算定されていた。

使用ダイアライザーは、Ia 型が 34.0% (前年 34.1%) と変わらず、Ib 型は 0% (前年 0%)、IIa 型が 22.3% (前年 24.2%) と減少、IIb 型が 5.6% (前年 4.2%) と増加、S 型が 4.2% (前年 4.6%)、特定積層型が 0.9% (前年 1.0%)、ヘモダイアフィルタが 38.1% (前年 33.9%) の大幅増加であった。ヘモダイアフィルタの使用がオンライン HDF の増加に伴い大幅に増加して

いる結果となった。

## 3 院内処方施設の分析

院外処方比率は、本年 67.3% と前年の 64.5% と比較し増加し、最近の増加傾向が継続していた。院外処方比率の変動は全体集計、とくに投薬料の結果に大きな影響を及ぼす。そのためここ数年、院外処方比率の影響を排除し投薬料の傾向を把握するために、院内・院外処方で分けて分析を行ってきた。院内処方施設の集計結果を表 4 (文末掲載) に示す。

院内処方 3,918 例では、請求合計は 42,095 点となり前年比 136 点の減少となっている。投薬料は 3,610 点と前回の 3,626 から 16 点の減少、注射料は 1,517 点と前回の 1,561 点から 44 点の減少となった。平成 30 年度改定では薬価も切り下げられており、その影響と考えられた。

また、今年度も高額薬剤としてランタン、シナカルセト、ナルフラフィン、カルニチン、クエン酸第二鉄、スクロオキシ水酸化鉄の 6 剤を別に集計している。今年はこれら 6 剤が投薬料に占める割合は 53.0% と昨年の 52.7% とほぼ同じであった。

ランタン、シナカルセト、ナルフラフィンは後発医薬品が上市され使用が始まっている。そのため、各薬剤の平均請求額はランタンが 2,005 点から 1,979 点に 26 点減少、シナカルセトが 2,073 点から 1,974 点に 99 点減少、ナルフラフィン 4,398 点から 4,058 点に 340 点減少となった。

また、今回エボカルセト (商品名オルケディア) の発売直後での調査であったが 130 件の使用が認められた。エテルカルセチド (商品名パーサビブ) の使用は 287 件 (8.2%) から 532 件 (13.6%) に増加が認められ、結果としてシナカルセト : エボカルセト : エテルカルセチドの使用割合は、27.6% : 3.3% : 13.6% であった。これら二次性副甲状腺治療亢進症の治療薬の請求額が請求合計に占める割合は 1.9% で、前回 1.8% と大きな変化は認められなかった。

## 4 施設の効率性の指数

前述したが、今回の改定では、各施設の透析用監視装置 1 台あたりの透析患者数により、人工腎臓点数の区分が導入された。本調査では、施設属性調査として、各施設が厚生局に届け出を行った各施設の効率性の数

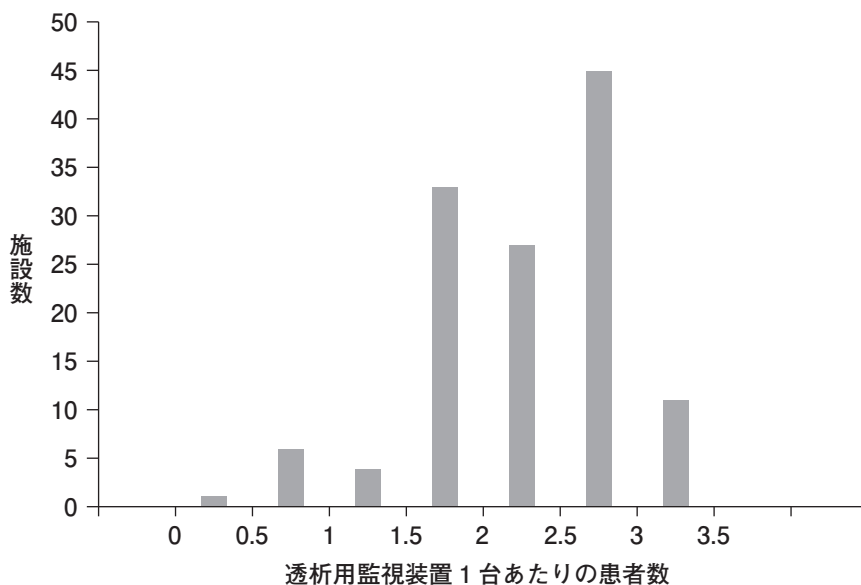


図2 施設の効率性の指数

表5 障害者加算算定理由

レセプト数	摘要
305	ア 障害者基本法にいう障害者で留意事項通知に規定する者
10	イ 精神保健福祉法の規定によって医療を受ける者
18	ウ 指定難病等に罹患している者で留意事項通知に規定するもの
369	エ 留意事項通知に規定する糖尿病の患者
88	オ 運動麻痺を伴う脳血管疾患患者
138	カ 認知症患者
28	キ 常時低血圧症（収縮期血圧が90 mmHg 以下）の者
164	ク 透析アミロイド症で手根管症候群や運動機能障害を呈する者
12	ケ 出血性消化器病変を有する者
22	コ 骨折を伴う二次性副甲状腺機能亢進症の患者
0	サ 重症感染症に合併しているために入院中の患者
0	シ 末期癌に合併しているために入院中の患者
0	ス 入院中の患者であって腹水・胸水が貯留しているもの
0	セ 妊婦（妊娠中期以降）
17	ソ うっ血性心不全（NYHA 3 度以上）
0	タ 12 歳未満の小児
0	チ 人工呼吸を実施中の患者
0	ツ 結核菌を排菌中の患者

「障害者等加算（人工腎臓）」の算定レセプト数=3,145 レセプト

値を記載いただいている。この調査項目に回答いただいた 127 施設の効率性の指数を図 2 に示す。レセプト調査上は人工腎臓 2 および人工腎臓 3 の算定が認められたが、この施設属性調査からの結果では、3.5 を超えた施設は認められなかった。2.5 から 3.0 の間に多くの施設が分布している結果となった。

### 5 障害加算算定の理由

平成 30 年度改定により、各施設は障害加算の請求において、2018 年 10 月以降は摘要欄に加算算定理由のコードを記載することとなった。調査実施の 6 月レセプトではまだ義務化の前であったが、多くの施設がコード記載を行っており、その結果を表 5 に示す。もっとも多くの算定理由が「エ 留意事項通知に規定する糖尿病の患者」で、以下、「ア 障害者基本法にいう障害者で留意事項通知に規定する者」、「ク 透析アミロイド症で手根管症候群や運動機能障害を呈する者」、「カ 認知症患者」の順番であった。一昨年から開始した新レセプト集計分析システムでは、このような分析も可能となった。今後、さまざまな形でデータを分析していく予定である。

### さいごに

2018 年の透析医療費実態調査の結果から、維持透析 1 回あたりの請求額は 3,064 点と前回の 3,077 点から 13 点の減少となった。2018 年改定では、透析技術料が一番引下げが少なかった人工腎臓 1 でも 35 点引き下げられているが、そこまで大幅に請求額が減少しなかったのは、オンライン HDF の比率が前年の 33% から 38% まで増加したことが主因と考えられた。

表2 第1回～第22回調査までの集計結果

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年
施設数(施設)	34	99	125	128	132	149	182	179	190	185	184	199
総数(人)	3,779	3,603	4,519	4,748	5,058	5,274	8,633	8,388	9,078	8,821	9,265	9,903
病院(人)	1,861	1,636	2,039	2,583	2,719	2,670	4,328	3,913	4,053	3,980	3,941	4,273
診療所(人)	1,918	1,967	2,480	2,165	2,339	2,604	4,305	4,475	5,025	4,841	5,324	5,630
透析回数(回)	12.5	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13
平均年齢(歳)	57.1	56.4	56.9	57.8	58.4	62.6	59.4	60.2	60.8	61.4	62.1	62.4
透析歴(年)	8.5	8.9	8.7	9.0	9.0	7.8	8.96	9.01	9.1	9.03	9.2	9.3
管理指導料(点)	2,593.2	3,019.4	3,025.8	2,920.6	2,921.3	2,813.6	2,832.3	2,635.1	2,638.6	2,510.1	2,525.1	2,529.2
在宅(%)	7.8	6.1	6.3	7.3	7.6	10.5	8.4	9.3	9.3	9.5	10.5	11.1
注射(点)	4,633.5	4,419.8	4,186.1	4,198.1	4,697.3	4,432.3	4,637.7	4,452.5	4,602.1	1,291.8	1,363.7	1,420.0
投薬(点)	1,628.1	1,815.0	1,684.3	1,755.5	1,803.1	1,743.4	1,802.6	2,001.7	2,131.4	2,030.9	2,108.1	2,292.0
EPO(%)	72.7	78.1	78.7	79.6	81.9	83.2	82.3	83	83.97	—	—	—
夜間加算(%)	29.5	30.6	31.1	30.3	29.0	17.9	30.2	29.6	28.9	28.5	28.1	27.4
障害者加算(%)	25.9	19.0	17.6	20.8	21.3	24.3	20.8	21.2	20.9	22.1	22.4	22.9
検査(点)	533.9	600.9	665.3	575.1	608.0	528.5	524.1	506.3	481.2	356.5	356.9	311.5
画像診断(点)	365.8	158.9	161.2	217.7	208.0	212	228.6	218.1	208.1	186	174.3	176.1
透析食(点)	—	817.9	818	818.7	817.4	—	—	—	—	—	—	—
院外処方(%)	19.5	13.3	26.5	27.7	25.6	32.8	33.8	37.6	37.2	44.8	44.7	45.6
除夜障害手術(点)	43,124.7	43,525.7	43,095.5	42,303.5	42,971.6	39,286.1	39,604.8	38,795.9	38,997.1	38,362.1	38,498.3	38,162.6
透析医療費 (除夜障害手術)/1回(点)	3,317.3	3,348.1	3,315.0	3,254.1	3,305.5	3,022.0	3,046.5	2,984.3	2,999.8	2,950.9	2,961.4	2,935.6
請求合計(点)	45,338.0	45,700.5	45,242.9	44,540.6	45,137.6	40,755.3	41,824.9	41,014.3	41,160.8	39,843.1	39,976.7	39,659.0
透析医療費 (請求合計)/1回(点)	3,487.5	3,515.4	3,480.2	3,426.2	3,472.1	3,135.0	3,217.3	3,154.9	3,166.2	3,064.9	3,075.1	3,050.7
Ⅳ型(%)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	63.57	72.8	81.3
Ⅴ型(%)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.4	6.6	10.5

	13	14	15	16	17	18	19	20		21	22
	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年		2017年	2018年
								調査①	調査②		
施設数(施設)	200	208	204	210	200	202	203	164	119	140	170
総数(人)	10,447	10,693	10,602	12,242	8,785	12,195	12,551	10,989	8,863	9,899	12,078
病院(人)	4,602	4,822	4,559	5,457	4,309	5,551	5,457	4,868	4,139	4,189	5,585
診療所(人)	5,845	5,871	6,043	6,785	4,476	6,644	7,094	6,121	4,724	5,710	6,493
透析回数(回)	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13
平均年齢(歳)	62.9	63.4	63.6	64.3	68.5	64.7	65.0	65.4	64.8	65.3	65.5
透析歴(年)	9.3	9.2	9.4	9.5	8.2	9.7	9.7	9.7	10.0	9.9	9.8
管理指導料(点)	2,535.6	2,534.8	2,537.6	2,539.5	2,526.1	2,489.1	2,490.9	2,514.4	2,511.8	2,516.5	2,558.4
在宅(%)	11.7	12.5	12.5	13.2	14.6	12.9	12.2	12.0	11.6	12.6	12.6
注射(点)	1,481.4	1,467.6	1,494.0	1,457.8	1,482.7	1,534.5	1,509.0	1,302.9	1,308.5	1,501.3	1,471.4
投薬(点)	2,762.8	2,887.5	3,112.7	3,229.9	3,198.1	3,710.0	3,809.0	3,491.1	3,440.8	3,286.9	3,266.8
EPO(%)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
夜間加算(%)	26.8	26.2	26.6	25.5	11.0	25.7	24.9	24.8	26.0	24.8	25.8
障害者加算(%)	23.9	23.9	24.0	24.3	27.5	23.6	23.0	24.1	24.3	24.6	26.0
検査(点)	329.7	315.7	316.1	355.8	358.8	419.5	424.0	393.6	407.0	409.6	428.8
画像診断(点)	201.6	215.2	219.3	232.1	278.8	237.4	256.3	249.7	255.2	246.1	264.8
透析食(点)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
院外処方(%)	48.2	47.4	50.3	52.1	53.5	59.0	63.7	63.0	64.0	64.5	67.3
除夜障害手術(点)	38,534.1	38,330.4	38,461.3	38,318.6	38,324.7	38,614.2	38,582.3	38,112.6	38,083.4	38,325.6	37,807.9
透析医療費 (除夜障害手術)/1回(点)	2,964.2	2,948.5	2,958.6	2,947.6	2,948.1	2,970.3	2,967.9	2,931.7	2,929.5	2,948.1	2,908.3
請求合計(点)	40,054.4	39,835.2	39,986.5	39,873.2	39,433.5	40,201.3	40,196.7	39,779.5	39,805.0	39,998.2	39,826.0
透析医療費 (請求合計)/1回(点)	3,081.1	3,064.2	3,075.9	3,067.2	3,033.3	3,092.4	3,092.1	3,060.0	3,061.9	3,076.8	3,063.5
Ⅳ型(%)	79.5	76.7	69.8	68.2	63.4	58.7	56.6	—	—	—	—
Ⅴ型(%)	16.9	21.4	27.7	28.8	25.2	27.4	25.7	—	—	—	—

表3 病院・診療所全体の集計結果

	年齢	透析歴	再診計	12：地域包括	13：指導	栄養指導(260)	集団栄養(80)
標本数	12,078	12,039	12,060	179	12,078	2,371	146
合計	791,059	118,464	11,863,450	38,160	30,899,918	480,440	11,680
平均	65.50	9.84	983.70	213.18	2558.36	202.63	80.00
標準偏差	12.68	8.71	82.30	41.53	257.49	17.69	0.00
	特定疾患(225)	腎代替加算(100)	特定疾患(147)	特定疾患(87)	その他情報	14：在宅	25：処方
標本数	3,863	4,157	1,264	459	5,148	1,505	4,527
合計	1,679,175	415,700	361,473	75,342	700,608	2,832,954	960,363
平均	434.68	100.00	285.98	164.14	136.09	1882.36	212.14
標準偏差	56.67	0.00	33.39	27.57	157.64	1433.40	110.94
	20：投薬	うちレグパラほか	30：注射	うちVD3	40：処置	ペンレス・ユーパッチ	人工腎14時間未満
標本数	4,592	2,747	8,752	6,642	12,078	6,801	1,790
合計	15,001,102	7,773,830	12,877,519	10,338,399	395,197,405	795,019	25,011,360
平均	3266.79	2829.93	1471.38	1556.52	32720.43	116.90	13972.83
標準偏差	6281.91	2013.08	1414.76	1022.77	2679.88	94.34	10829.77
	人工腎14～5時間	人工腎15時間以上	人工腎24時間未満	人工腎24～5時間	人工腎25時間以上	人工腎34時間未満	人工腎34～5時間
標本数	9,613	2,235	26	240	13	2	27
合計	247,182,840	51,881,375	477,240	6,472,200	347,880	49,400	684,315
平均	25713.39	23213.14	18355.38	26967.50	26760.00	24700.00	25345.00
標準偏差	5784.13	9722.81	9982.86	2276.28	7105.92	0.00	5126.07
	人工腎35時間以上	長時間加算	うちダイア計	うち1a型(1.5未満)	うち1a型(1.5以上)	うち1b型(1.5未満)	うち1b型(1.5以上)
標本数	3	195	7,834	696	3,413	0	1
合計	67,735	278,550	15,767,189	1,325,025	6,469,424	0	1,937
平均	22578.33	1428.46	2012.66	1903.77	1895.52	0.00	1937.00
標準偏差	6754.29	697.19	656.09	281.10	331.98	0.00	0.00
	うち2a型(1.5未満)	うち2a型(1.5以上)	うち2b型(1.5未満)	うち2b型(1.5以上)	うちS型(1.5未満)	うちS型(1.5以上)	うち特定積層型
標本数	69	2,625	0	555	118	384	104
合計	123,552	5,038,880	0	1,090,908	232,645	783,704	701,114
平均	1790.61	1919.57	0.00	1965.60	1971.57	2040.90	6741.48
標準偏差	322.91	326.05	0.00	463.14	390.41	295.24	1985.51
	透析濾過加算(50)	ヘモダイアフィルター	夜間	障害	水質確保	下肢末梢	50：手術・麻酔
標本数	4,555	4,601	3,114	3,145	11,696	10,660	304
合計	2,864,200	15,916,450	13,576,260	5,628,840	1,520,480	1,066,100	5,169,678
平均	628.80	3459.35	4359.75	1789.77	130.00	100.01	17005.52
標準偏差	88.83	486.80	1252.72	203.80	0.00	0.97	11427.93
	うち手術	うちPTA	うちシャント	うち輸血	うちその他	60：検査	うち生体
標本数	275	187	14	45	56	7,916	4,453
合計	5,161,249	4,606,957	160,940	207,027	186,325	3,393,958	2,505,736
平均	18768.18	24636.13	11495.71	4600.60	3327.23	428.75	562.71
標準偏差	10566.05	4108.43	6934.34	2070.96	4767.04	552.33	571.31
	うち検体	70：画像	うち胸部	うち胸部ほか	80：その他	院外処方	請求合計
標本数	5,669	9,166	6,456	3,843	8,255	8,131	12,078
合計	803,010	2,427,120	375,494	2,051,626	2,615,640	1,985,334	481,018,922
平均	141.65	264.80	58.16	533.86	316.86	244.17	39826.04
標準偏差	167.29	639.46	32.50	899.48	479.64	142.19	6148.94
	除夜間	除障害	除夜障手	レグパラ	オルケディア	ホスレノール	レミッチ
標本数	12,078	12,078	12,078	1,116	138	1,626	203
合計	467,442,662	475,390,082	456,644,144	2,208,601	92,218	3,220,241	823,162
平均	38701.99	39360.00	37807.93	1979.03	668.25	1980.47	4054.99
標準偏差	5860.14	6056.43	4588.67	1066.48	383.47	944.81	1670.78
	エルカルチン	リオナ	ピートル	オキサロール	ロカルトロール	エルカルチンFF	パーサビブ
標本数	37	719	368	4,062	1,545	1,607	1,462
合計	79,079	700,414	650,115	4,700,414	1,712,592	1,633,234	2,292,159
平均	2137.27	974.15	1766.62	1157.17	1108.47	1016.32	1567.82
標準偏差	952.54	602.15	1152.66	607.68	510.83	401.38	754.17

表4 院内処方施設の集計結果

	年齢	透析歴	再診計	12：地域包括	13：指導	栄養指導(260)	集団栄養(80)
標本数	3,918	3,914	3,917	105	3,918	703	7
合計	256,844	40,073	3,877,468	24,534	9,912,521	141,960	560
平均	65.55	10.24	989.91	233.66	2530.00	201.93	80.00
標準偏差	12.60	8.85	87.94	3.50	234.18	15.04	0.00
	特定疾患(225)	腎代替加算(100)	特定疾患(147)	特定疾患(87)	その他情報	14：在宅	25：処方
標本数	1,185	1,038	386	151	3,282	525	3,918
合計	483,300	103,800	112,161	25,230	230,010	1,114,461	895,736
平均	407.85	100.00	290.57	167.09	70.08	2122.78	228.62
標準偏差	87.79	0.00	22.18	23.53	116.71	1422.56	105.51
	20：投薬	うちレグパラほか	30：注射	うちVD3	40：処置	ペンレス・ユーパッチ	人工腎14時間未満
標本数	3,918	2,645	2,698	2,063	3,918	2,179	541
合計	14,144,328	7,501,650	4,091,812	3,192,914	128,406,444	235,155	8,783,280
平均	3610.09	2836.16	1516.61	1547.70	32773.47	107.92	16235.27
標準偏差	5643.08	2008.52	1558.20	1088.65	2698.76	78.17	10466.95
	人工腎14～5時間	人工腎15時間以上	人工腎24時間未満	人工腎24～5時間	人工腎25時間以上	人工腎34時間未満	人工腎34～5時間
標本数	2,965	609	19	192	8	0	0
合計	76,823,860	13,968,500	358,900	5,205,900	205,160	0	0
平均	25910.24	22936.78	18889.47	27114.06	25645.00	0.00	0.00
標準偏差	5457.11	9740.49	9828.66	1449.66	8850.04	0.00	0.00
	人工腎35時間以上	長時間加算	うちダイア計	うち1a型(1.5未満)	うち1a型(1.5以上)	うち1b型(1.5未満)	うち1b型(1.5以上)
標本数	0	62	2,181	194	595	0	0
合計	0	93,900	4,415,783	370,403	1,129,816	0	0
平均	0.00	1514.52	2024.66	1909.29	1898.85	0.00	0.00
標準偏差	0.00	690.92	699.57	265.21	330.72	0.00	0.00
	うち2a型(1.5未満)	うち2a型(1.5以上)	うち2b型(1.5未満)	うち2b型(1.5以上)	うちS型(1.5未満)	うちS型(1.5以上)	うち特定積層型
標本数	31	951	0	286	31	88	29
合計	57,024	1,827,210	0	575,748	60,214	180,930	214,438
平均	1839.48	1921.36	0.00	2013.10	1942.39	2056.02	7394.41
標準偏差	178.10	354.85	0.00	426.25	346.84	278.48	632.79
	透析濾過加算(50)	ヘモダイアフィルター	夜間	障害	水質確保	下肢末梢	50：手術・麻酔
標本数	1,775	1,821	912	1,107	3,714	3,416	116
合計	1,139,800	6,433,075	3,976,320	1,941,800	482,820	341,600	2,040,521
平均	642.14	3532.72	4360.00	1754.11	130.00	100.00	17590.70
標準偏差	49.18	267.65	1258.77	304.59	0.00	0.00	11853.60
	うち手術	うちPTA	うちシャント	うち輸血	うちその他	60：検査	うち生体
標本数	110	72	7	19	27	2,327	1,241
合計	2,039,184	1,799,985	89,797	74,987	74,415	1,042,396	730,500
平均	18538.04	24999.79	12828.14	3946.68	2756.11	447.96	588.64
標準偏差	11431.68	5114.38	6593.64	1272.92	2914.34	586.74	658.01
	うち検体	70：画像	うち胸部	うち胸部ほか	80：その他	院外処方	請求合計
標本数	1,699	2,968	1,792	1,569	122	0	3,918
合計	296,529	835,756	105,105	730,651	266,271	0	164,929,148
平均	174.53	281.59	58.65	465.68	2182.55	0.00	42095.24
標準偏差	168.48	658.39	26.10	845.71	1751.10	0.00	7190.65
	除夜間	除障害	除夜障手	レグパラ	オルケディア	ホスレノール	レミッチ
標本数	3,918	3,918	3,918	1,081	130	1,565	197
合計	160,952,828	162,987,348	156,970,507	2,134,304	86,100	3,097,520	799,578
平均	41080.35	41599.63	40063.94	1974.38	662.31	1979.25	4058.77
標準偏差	6910.20	7105.72	5524.07	1063.97	360.56	925.39	1659.01
	エルカルチン	リオナ	ピートル	オキサロール	ロカルトロール	エルカルチンFF	パーサビブ
標本数	36	703	349	1,117	585	505	532
合計	76,139	686,200	621,809	1,200,524	625,638	512,595	854,157
平均	2114.97	976.10	1781.69	1074.78	1069.47	1015.04	1605.56
標準偏差	956.11	602.61	1167.08	646.07	506.28	382.15	808.69